

## 各社の脱炭素に向けた取組みについて

## (1) JR九州グループ（九州旅客鉄道株式会社、JR九州電気システム株式会社）

2025年2月に環境への取組みに関する長期ビジョン「JR九州グループ環境ビジョン2050」を策定しました。「地域・お客さま・事業パートナーと共創する、自然と共生した未来」をテーマとして掲げ、環境への対応を重要な課題の一つとし、2035年GHG排出量の間目標を2023年度比より60%削減するとしています。また、2050年長期KPIとして「GHG排出量実質ゼロ」、「脱炭素化を進めるためのお客さまと多様な事業パートナーとの協働」、「地域と共に築く、気候変動の影響を最小限に抑えた災害に強い社会の実現」を設定し、これらの達成を通じて、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めています。

## (2) 九州電力株式会社

2021年4月に「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」を制定しました。社会のカーボンニュートラル実現に向けて、電化を最大限推進し、環境にやさしいエネルギーを安定的にお届けすることで、事業活動による社会全体のGHG排出量をマイナスにする「カーボンマイナス」を2050年よりできるだけ早期に実現します。

地域やお客さまからのカーボンニュートラル推進に向けたニーズに対しても、九電グループのソリューションの提供を通じて課題解決に貢献し、ゼロカーボン社会を共創していきます。

## (3) GPSSホールディングス株式会社

「私たち一人ひとりが『生きる』を続けることができる社会を実現する」というビジョンのもと、日本のあらゆる地域が自立的に持続可能性を追求するための礎を築くことを活動の軸としています。次世代が「生きる」ために不可欠なニーズを満たすとともに、地域と都市との間にポジティブな関係性を構築し、より豊かな社会の実現に貢献してまいります。この解決の手段の一つとして、再生可能エネルギー発電所の開発・建設に取り組んでおり、今回のオフサイトPPAの取組みをさらに推進・拡大してビジョンの実現に取り組んでいきます。さらに、同様の社会課題に直面する海外の地域へもソリューションを提供し、「LOCAL（地域）からGLOBAL（世界）」を創る「GLOCAL（グローバル）」を目指すことで、地域からサステナブルな社会を実現します。